

静岡県消費者物価指数の動き

生鮮食品を除く総合指数が4年連続上昇

企画広報部 統計調査課

「静岡県消費者物価指数」は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」の調査票情報を利用し、静岡県が実施している「静岡県小売物価統計調査」の調査結果と合わせて静岡県が独自に算出したものです。

平成27年平均の静岡県消費者物価指数は、平成22年を100とした**総合指数**が**103.4**となり、前年比は**0.7%の上昇**となった。天候により値動きが大きく左右する**生鮮食品を除いた総合指数**は**103.1**となり、前年比は**0.4%の上昇**で、平成24年から4年連続の上昇となった。**食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数**は**100.6**で、前年比は**0.9%の上昇**となった。

1 年別の動き

総合指数は平成11年から平成23年まで下落傾向が続いた（p 7 参照）。平成20年に原油価格や穀物価格の高騰の影響で上昇となったが、その後は2年連続して1%以上の下落となった。平成23年は再び原油価格の上昇等により下落幅が縮小し、平成25年は5年ぶりに上昇に転じた。

平成26年は、円安の影響や4月に消費税率が5%から8%に改定されたことにより、総合指数、生鮮食品を除く総合指数共に大幅な上昇となり、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、平成17年の公表開始以降初めて上昇に転じた。

平成27年は、引き続き円安等の影響により上昇となったが、平成26年7月頃から続いている世界的な原油価格の下落により、上昇は小幅なものとなった。

図1 静岡県消費者物価指数の推移 (平成22年=100)

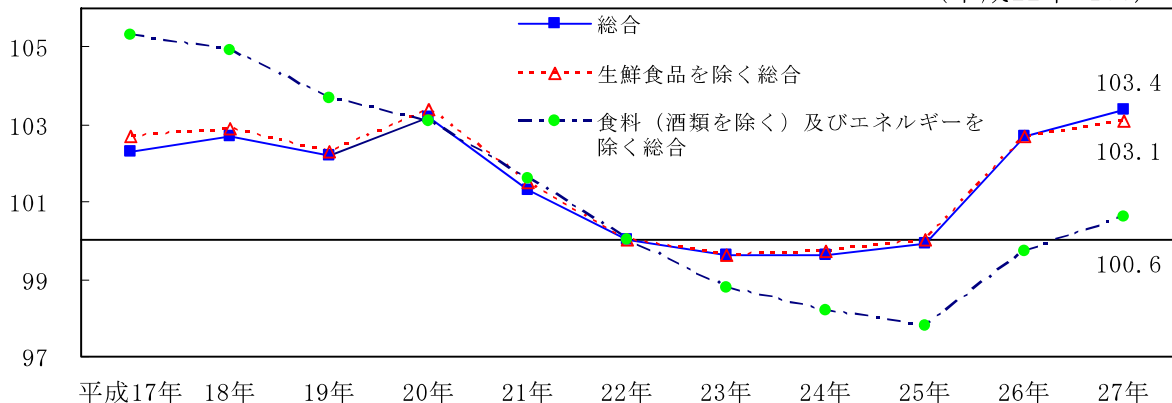


図2 静岡県消費者物価指数の前年比の推移 (%)

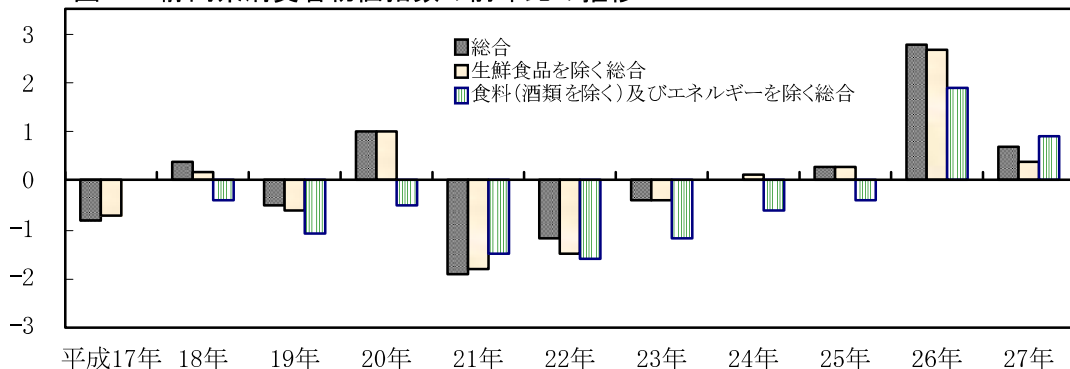


表1 静岡県消費者物価指数の年別推移

(平成22年=100)

平成		17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
総合	指数	102.3	102.7	102.2	103.2	101.3	100.0	99.6	99.6	99.9	102.7	103.4
	前年比(%)	△0.8	0.4	△0.5	1.0	△1.9	△1.2	△0.4	0.0	0.3	2.8	0.7
生鮮食品を除く総合	指数	102.7	102.9	102.3	103.4	101.5	100.0	99.6	99.7	100.0	102.7	103.1
	前年比(%)	△0.7	0.2	△0.6	1.0	△1.8	△1.5	△0.4	0.1	0.3	2.7	0.4
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	105.3	104.9	103.7	103.1	101.6	100.0	98.8	98.2	97.8	99.7	100.6
	前年比(%)	—	△0.4	△1.1	△0.5	△1.5	△1.6	△1.2	△0.6	△0.4	1.9	0.9

2 10大費目別指数の動き

(1) 概況

平成27年平均の10大費目別指数の前年比を見ると、「食料」が生鮮食品、菓子類などの値上がりにより3.1%の上昇、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値上がりにより2.0%の上昇、「教育」が授業料等の値上がりにより2.8%の上昇、「家具・家事用品」が家事雑貨などの値上がりにより2.2%の上昇となった。

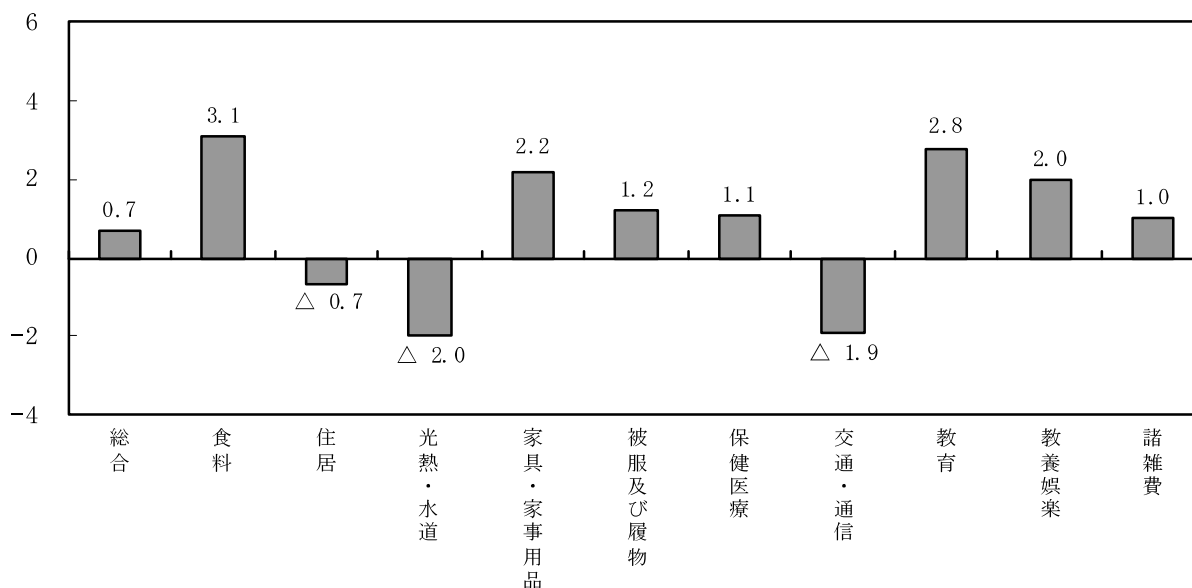
一方、「交通・通信」がガソリンなどの値下がりにより1.9%の下落、「光熱・水道」が電気代、ガス代などの値下がりにより2.0%の下落となった。

表2 平成27年10大費目別指数の動き

(平成22年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	103.4	107.3	97.0	117.8	93.6	102.8	99.8	103.8	104.4	98.4	109.3
前年比(%)	0.7	3.1	△0.7	△2.0	2.2	1.2	1.1	△1.9	2.8	2.0	1.0
寄与度	—	0.78	△0.14	△0.17	0.07	0.05	0.05	△0.30	0.08	0.21	0.06

図3 平成27年10大費目別指数の前年比



(2) 上昇幅の大きかった費目と下落した費目

上昇幅の大きかった費目を寄与度順に見ると、食料（寄与度0.78）、教養娯楽（寄与度0.21）である。一方、下落した品目は交通・通信（寄与度△0.30）、光熱・水道（寄与度△0.17）である。

○食料

食料は107.3となり、前年と比べ3.1%の上昇となった。

内訳をみると、野菜・海藻がトマト、キャベツなどの値上がりにより7.3%の上昇、菓子類がケーキなどの値上がりにより7.3%の上昇、肉類が4.4%の上昇、果物が8.5%の上昇、調理食品が2.3%の上昇となった。一方、酒類が0.1%の下落、穀類が0.1%の下落となった。

図4 食料指数の動き

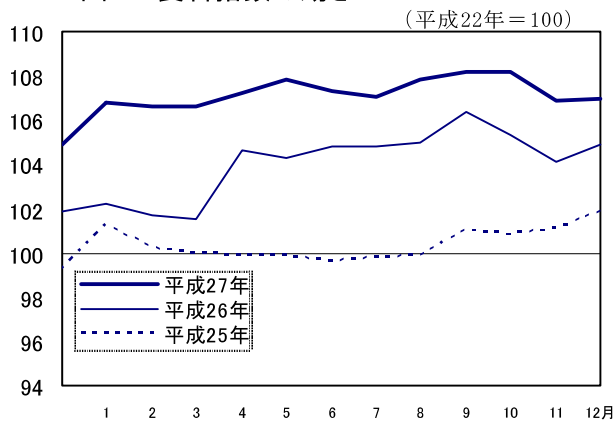


表3 食料の平成27年平均指数

(平成22年=100)			
中分類	指数	前年比	寄与度
食料	107.3	3.1%	0.78
穀類	98.4	△0.1%	0.00
魚介類	115.5	3.2%	0.07
肉類	113.9	4.4%	0.09
乳卵類	109.3	3.5%	0.04
野菜・海藻	105.6	7.3%	0.18
果物	112.8	8.5%	0.08
油脂・調味料	102.8	0.4%	0.00
菓子類	111.9	7.3%	0.17
調理食品	112.0	2.3%	0.07
飲料	102.8	0.6%	0.01
酒類	101.1	△0.1%	0.00
外食	103.9	1.2%	0.07

○交通・通信

交通・通信は103.8となり、前年と比べ1.9%の下落となった。

内訳をみると、自動車等関係費がガソリンなどの値下がりにより3.4%の下落となった。一方、交通が高速道路料金などの値上がりにより2.7%の上昇、通信が固定電話通信料などの値上がりにより0.2%の上昇となった。

図5 交通・通信指数の動き

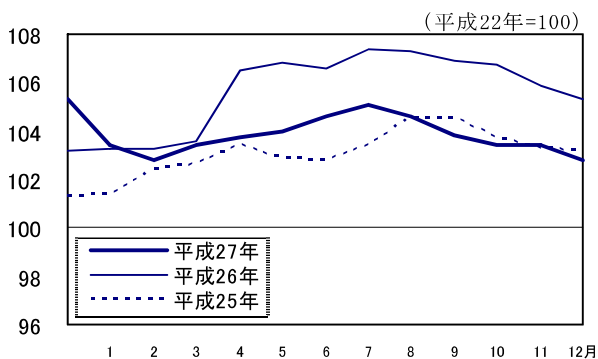


表4 交通・通信の平成27年平均指数

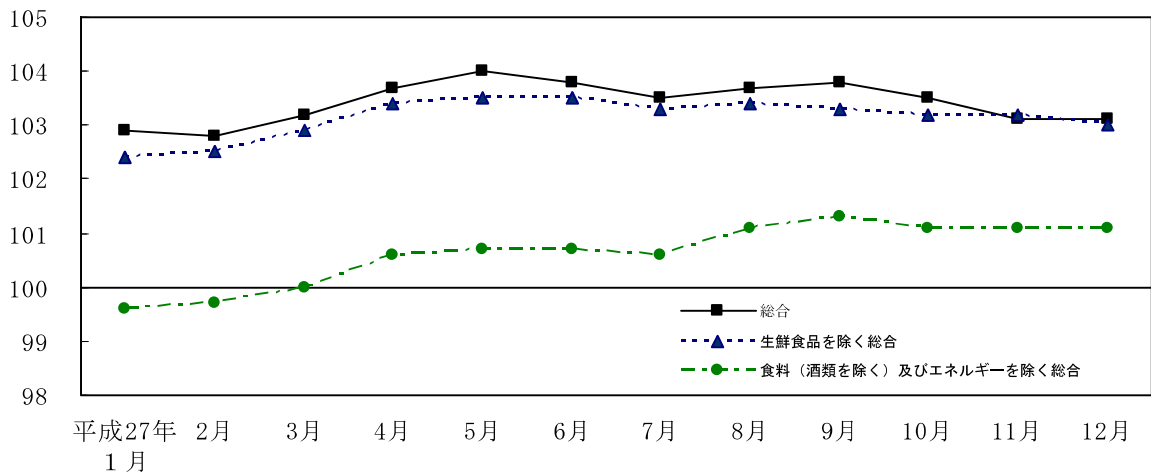
(平成22年=100)			
中分類	指数	前年比	寄与度
交通・通信	103.8	△1.9%	△0.30
交通	110.4	2.7%	0.05
自動車等関係費	104.5	△3.4%	△0.36
通信	99.0	0.2%	0.01

3 月別の動き

総合指数の前月比は、5月までは緩やかな上昇傾向で推移していたが、6月に下落に転じた。8月、9月は上昇したが、10月以降は再び下落した。前年同月比では、消費税率改定の影響があった1月から3月までは2%台で推移していたが、4月以降は1%以下の上昇率となり7月にはマイナスに転じた。11月、12月はプラスとなったが上昇率はわずかなものとなった。

生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、総合指数とほぼ同じ動きを見せたが、下落幅はより大きく、7月から10月までマイナスが続き、12月に8か月ぶりに上昇した。

図6 静岡県消費者物価指数の月別の動き



(%) 図7 月別の前年同月比の推移

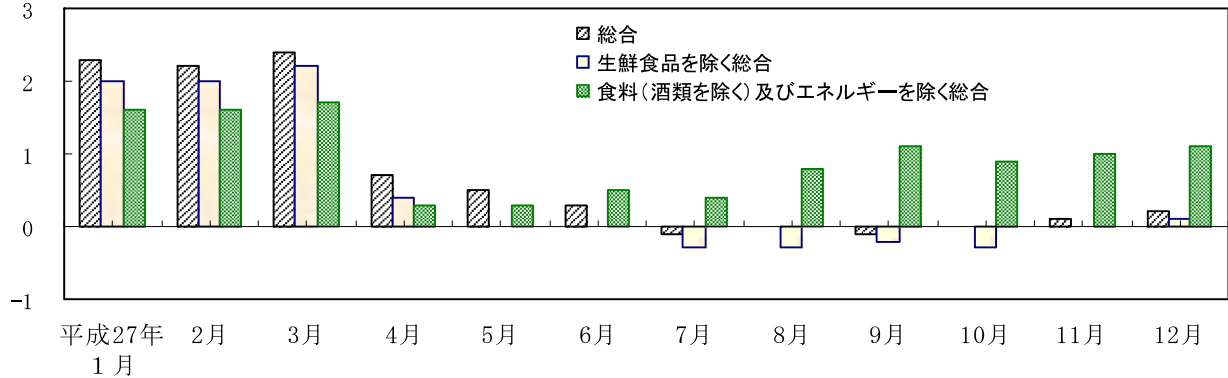


表5 静岡県消費者物価指数の月別推移

(平成22年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	102.9	102.8	103.2	103.7	104.0	103.8	103.5	103.7	103.8	103.5	103.1	103.1
	前月比(%)	0.0	△0.1	0.4	0.5	0.3	△0.2	△0.3	0.2	0.1	△0.3	△0.4	0.0
	前年比(%)	2.3	2.2	2.4	0.7	0.5	0.3	△0.1	0.0	△0.1	0.0	0.1	0.2
生鮮食品を除く総合	指数	102.4	102.5	102.9	103.4	103.5	103.5	103.3	103.4	103.3	103.2	103.2	103.0
	前月比(%)	△0.5	0.1	0.4	0.5	0.1	0.0	△0.2	0.1	△0.1	△0.1	0.0	△0.2
	前年比(%)	2.0	2.0	2.2	0.4	0.0	0.0	△0.3	△0.3	△0.2	△0.3	0.0	0.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	99.6	99.7	100.0	100.6	100.7	100.7	100.6	101.1	101.3	101.1	101.1	101.1
	前月比(%)	△0.4	0.1	0.3	0.6	0.1	0.0	△0.1	0.5	0.2	△0.2	0.0	0.0
	前年比(%)	1.6	1.6	1.7	0.3	0.3	0.5	0.4	0.8	1.1	0.9	1.0	1.1

4 財・サービス分類指数の動き

(1) 財指数

財は105.1となり、前年と比べ0.8%の上昇となった。

内訳をみると、**農水畜産物**が生鮮野菜などの値上がりにより4.5%の上昇となった。**工業製品**は食料工業製品が菓子類などの値上がりにより3.2%、繊維製品が1.7%、他の工業製品が2.0%上昇したが、石油製品がガソリン、プロパンガス、灯油の値下がりにより13.4%下落したことで、0.4%の上昇となった。**電気・都市ガス・水道**は電気代や都市ガス代の値下がりにより1.1%の下落、**出版物**は新聞代、雑誌などの値上がりにより1.2%の上昇となった。

(2) サービス指数

サービスは101.7となり、前年と比べ0.6%の上昇となった。内訳をみると、公共サービスは1.7%の上昇、一般サービスは0.2%の上昇となった。

表6 財・サービス分類指数の動き

(平成22年=100)

指数	総合	財	農水畜産物	工業製品	電気・都市ガス・水道	出版物	サービス	公共サービス	一般サービス	*			
										外食	民営家賃	帰属家賃	他のサービス
指数	103.4	105.1	110.2	102.2	119.9	104.8	101.7	107.3	100.0	103.9	95.6	95.6	103.6
前年比(%)	0.7	0.8	4.5	0.4	△1.1	1.2	0.6	1.7	0.2	1.2	△1.2	△1.2	1.3

* 持家の帰属家賃

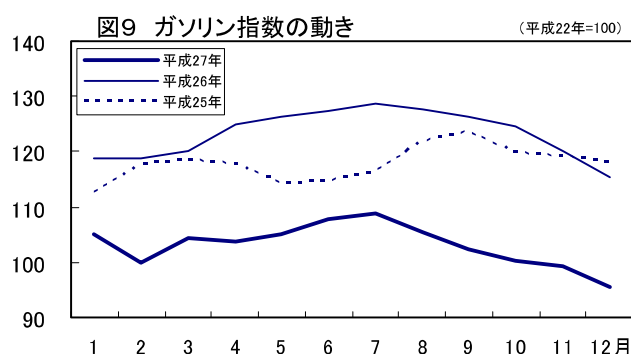
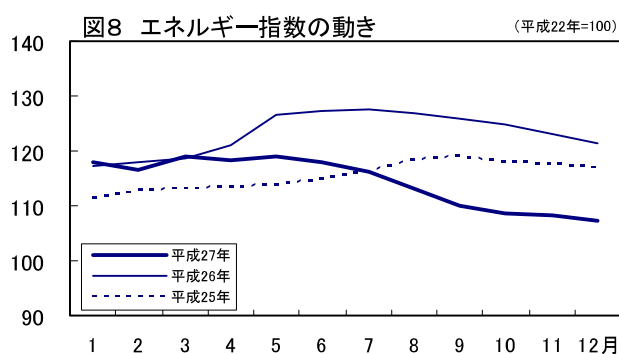
5 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、総合指数から国際市況、為替状況などに応じて価格が大きく変動する品目を除いた指数で、景況を判断する指標として注視されている。

消費税率改定の影響もあり、平成26年に平成17年の公表開始以降初めて上昇に転じ、平成27年は2年連続の上昇となった（表1参照）。

月別の前年同月比の動きをみると、8月以降に上昇幅が拡大している（表5参照）。

また、エネルギー関連品目は東日本大震災や円安の影響を受けて上昇が続いていたが、世界的な原油安の影響で平成26年7月をピークに減少傾向にあり、平成27年6月からはガソリンなどの値下がりにより7か月連続で下落している。



(参考) 静岡県消費者物価指数の年別推移

(平成22年=100)

年平均	総合		生鮮食品を除く総合		食品(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合		持ち家の帰属家賃を除く総合	
	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比
平成7年	102.2	△ 0.4	102.5	△ 0.3	—	—	103.5	△ 0.8
8年	102.5	0.3	102.8	0.3	—	—	103.4	0.0
9年	104.8	2.2	105.1	2.2	—	—	105.7	2.3
10年	105.6	0.7	105.5	0.4	—	—	106.6	0.7
11年	105.3	△ 0.3	105.5	0.0	—	—	106.1	△ 0.5
12年	104.9	△ 0.3	105.4	△ 0.1	—	—	105.5	△ 0.5
13年	104.3	△ 0.6	104.7	△ 0.7	—	—	104.6	△ 0.9
14年	103.3	△ 0.9	103.9	△ 0.8	—	—	103.4	△ 1.1
15年	103.5	0.1	103.9	0.1	—	—	103.6	0.1
16年	103.1	△ 0.4	103.5	△ 0.5	—	—	103.1	△ 0.4
17年	102.3	△ 0.8	102.7	△ 0.7	105.3	—	102.2	△ 0.9
18年	102.7	0.4	102.9	0.2	104.9	△ 0.4	102.7	0.5
19年	102.2	△ 0.5	102.3	△ 0.6	103.7	△ 1.1	102.2	△ 0.5
20年	103.2	1.0	103.4	1.0	103.1	△ 0.5	103.4	1.2
21年	101.3	△ 1.9	101.5	△ 1.8	101.6	△ 1.5	101.4	△ 2.0
22年	100.0	△ 1.2	100.0	△ 1.5	100.0	△ 1.6	100.0	△ 1.4
23年	99.6	△ 0.4	99.6	△ 0.4	98.8	△ 1.2	99.6	△ 0.4
24年	99.6	0.0	99.7	0.1	98.2	△ 0.6	99.8	0.2
25年	99.9	0.3	100.0	0.3	97.8	△ 0.4	100.3	0.5
26年	102.7	2.8	102.7	2.7	99.7	1.9	103.7	3.4
27年	103.4	0.7	103.1	0.4	100.6	0.9	104.7	1.0

(注) この表は、平成6年以降の指数の推移について、平成22年を100として換算し示したものです。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合は、平成17年分から公表しています。